

熊本高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	進路セミナー
科目基礎情報						
科目番号	0059		科目区分	専門 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	生物化学システム工学科		対象学年	4		
開設期	通年		週時間数	1		
教科書/教材	特になし					
担当教員	道園 達也					
到達目標						
1. 工場見学旅行の中で、社会と工業との関連性を認識することができる。 2. インターンシップの前準備としてエントリーシートを作成することができる。 3. SPI 模擬試験や企業研究など、自発的に活動することができる。 4. 就職することへのビジョンを固め、自分の志望動機を説明することができる。 5. 進路相談を通じて、自分の進路を固めることができる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
1. 工場見学旅行の中で、社会と工業との関連性を認識することができる。	工場見学旅行の中で、社会と工業との関連性を認識し、自分の進路選択に活かすことができる。		工場見学旅行の中で、社会と工業との関連性を認識することができる。		工場見学旅行の中で、社会と工業との関連性を認識することができない。	
2. インターンシップの前準備としてエントリーシートを作成することができる。	インターンシップの前準備として、十分な説得力のあるエントリーシートを作成することができる。		インターンシップの前準備としてエントリーシートを作成することができる。		インターンシップの前準備としてエントリーシートを作成することができない。	
3. SPI模擬試験や企業研究など、自発的に活動することができる。	SPI模擬試験や企業研究など、自発的に活動し、来年度のキャリア活動に役立てることができる。		SPI模擬試験や企業研究など、自発的に活動することができる。		SPI模擬試験や企業研究など、自発的に活動することができない。	
4. 就職・進学することへのビジョンを固め、自分の志望動機を説明することができる。	就職・進学することへのビジョンを固め、自分の志望動機を十分な説得力を持って説明することができる。		就職・進学することへのビジョンを固め、自分の志望動機を説明することができる。		就職・進学することへのビジョンを固め、自分の志望動機を説明することができない。	
5. 進路相談を通じて、自分の進路を固めることができる。	進路相談を通じて、自分の特性や将来のビジョンを踏まえて、進路を固めることができる。		進路相談を通じて、自分の進路を固めることができる。		進路相談を通じて、自分の進路を固めることができない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	進路に関するテーマをHR活動の一環として1年間実施し、次年度の就職活動に向けての準備を行うことで学生の勤労観や職業観を磨き、自分の将来について考えるサポートの目的で実施するセミナーである。 * 担任からの実施報告書により、30 時間の実施時間をもって単位を認定する。 * 成績評価は「合格」とする。					
授業の進め方・方法	年度初めに担任が1年間のスケジュールを立てる。その内容は、クラスごとに行うテーマと、全学科共通で実施するテーマの2つに区分できる。内容としては、進路決定や就職活動に関すること、職業観に関することを展開する。 進路セミナーのテーマは、クラス担任が計画をして1年間を通じて実施する。過去に実施したテーマの一例を下に示す。 ■ 工場見学旅行について：工場見学旅行のガイダンスと準備、工場見学旅行のまとめ ■ 進路に関すること：進路ガイダンス、進路相談会（三者面談）、進路書類の作成 ■ 共通プログラム：エントリーシートの作成、SPI 模擬試験、仕事に就くための法律知識、人間にとって仕事とは何か（学校長）、企業研究の方法（就職アドバイザー）					
注意点	・ 来年は就職活動を展開し、自分の卒業後の進路を決定することになる。今年度はその前準備として企業研究や保護者の方々との話し合いをよくしておくことが望ましい。 ・ 世の中の情勢の動きに注意をはらうこと。新聞を毎日読むことにより社会情勢を理解し、文章の書き方の学習にも役立つ。 自分の将来を考えることは非常に悩ましいことです。本校に入学してから学生諸君はそれぞれの目標をもってこれまで学習してきたと思います。このセミナーではその目標を実現するために、学生諸君の就職活動や進路決定をサポートするために実施しているものです。積極的に参加するように心がけてください。					
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	第1回進路セミナー「キャリア開発について」	キャリア開発という考えを理解し、自分のキャリアについて考えることができる。		
		2週	第2回進路セミナー「仕事について知る」	働くことの意義を理解し、自分の将来について考えることができる。		
		3週	第3回進路セミナー「就職模試(SPI)」	就職模試を受験できる。		
		4週	第4回進路セミナー「就職模試(一般常識)」	就職模試を受験できる。		
		5週	第5回進路セミナー「就職模試解説」	就職模試の結果を自己分析し、将来のキャリア選択に役立てることができる。		
		6週				
		7週				
		8週				
	2ndQ	9週				
		10週				
		11週				
		12週				

後期		13週		
		14週		
		15週		
		16週		
	3rdQ	1週	工場見学旅行・海外研修旅行	工場見学旅行・海外研修旅行に参加し、社会と工業との関連性を認識することができる。
		2週	第6回進路セミナー「自己分析」	自己を客観的に分析し、将来のキャリア選択に役立てることができる。
		3週	第7回進路セミナー「外部講師によるキャリア教育講座(1)」	外部講師の話を聞くことで、将来のキャリア選択に役立てることができる。
		4週	第8回進路セミナー「企業・業界を知る(1)」	企業や業界について知り、キャリア研修会に参加する企業についての企業研究ができる。
		5週	第9回進路セミナー「企業・業界を知る(2)」	キャリア研修会が有意義なものになるよう、十分な事前準備ができ、マナーや心構えについて理解できる。
		6週	第10回進路セミナー「キャリア研修会」	キャリア研修会に参加し、様々な企業やOB・OGの話を聴くことで、将来のキャリア選択に役立てることができる。
		7週	第11回進路セミナー「外部講師によるキャリア教育講座(2)」	外部講師の話を聞くことで、将来のキャリア選択に役立てることができる。
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	実施報告書	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	100	0	0	0	0	0	100